



SEFLY USER MANUAL

SEFLY ユーザーマニュアル

SEFLY をご購入いただき、誠にありがとうございます。本書で SEFLY の操作方法についてご確認いただき、SEFLY カメラで最高の体験をお楽しみください。

SEFLY は小型で軽量の飛行型カメラです。自律ホバリング機能により安定した操縦が可能です。

本クイックチュートリアルをご確認いただき、シミュレーターを飛行前にご利用ください。アプリの 'LEARN SEFLY' ページからご確認いただけます。

最高のフライトパフォーマンスのために、以下に従ってください:

- 平らな位置から離陸してください。
- モーターは完全に水平な位置まで展開してください。
- プロペラに損傷がなく、曲がりがないことを確認してください。
- 風の強い環境での飛行はお控えください。
- 最適なドリフト検知のために、明るい場所で飛行してください
(垂直カメラで検知されます)
- 出荷時のバッテリーは満充電されていません。
- 離陸前に操縦者はドローンのカメラが操縦者を向くように位置してください。

概要:

- ビュー:



- **Batteries(バッテリー)** – 交換可能のバッテリーで、**USB-C** ケーブル(パッケージ付属)に接続して充電できます。**USB-C** ポートは、ドローンのフロントカメラレンズの横に位置しています。バッテリーは基本パッケージに含まれていない専用のパワーバンクを使用しての充電も可能です。(別セクションを参照)使用前にはバッテリーを完全に充電してください。出荷時にはバッテリーは完全に充電されていません。

SEFLY に接続する/電源を入れる:

- Google play 又は Apple store より、SEFLY アプリ - 'AEE SEFLY'をダウンロードしてください。

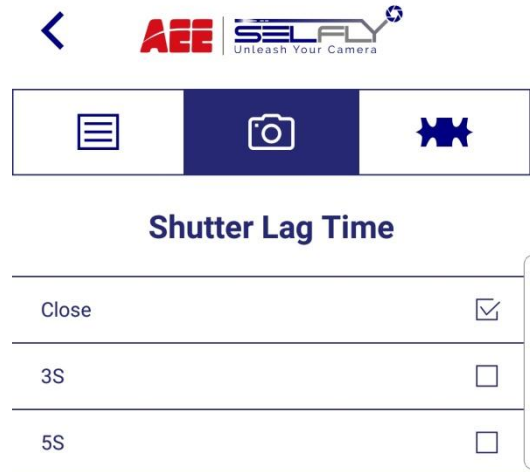
- 使用前にはバッテリーを完全に充電してください。出荷時にはバッテリーは完全に充電されていません。
- 上部にある **On/Off** ボタンを、青色 **LED** の点滅が止まり、点灯するまで押してください。次にスマートフォンの **Wi-Fi** インターフェースの操作を行います。**(SELFLY を使用中以外の場合は、電源を入れたままにしないでください。バッテリーの消耗に繋がります。)**
- **Wi-Fi** コネクション – **WiFi** 名“Selfly_xxxxxxx”を探し、パスワード“00000000” (0 を 8 回)入力してください。**Wi-Fi** が正しく接続された場合に、**Wi-Fi indicator**(**Wi-Fi** インジケーター、本体内部の **LED**)が緑色に点灯します。
- “インターネット接続がありません”と表示されますが、この段階では問題ありません。スマートフォンの **Wi-Fi** がインターネットモデムではなく、本体へと接続されるためです。**3G** 回線等のインターネットアクセスは継続して利用可能です。
- **SELFLY** アプリをホーム画面から開くと、**'YOUR GALLERY'**、**'SETTINGS'** 及び **'LEARN SELFLY'** ページにアクセスできます。**'CONNECT'** ボタンを押して、フライト画面へと遷移してください。



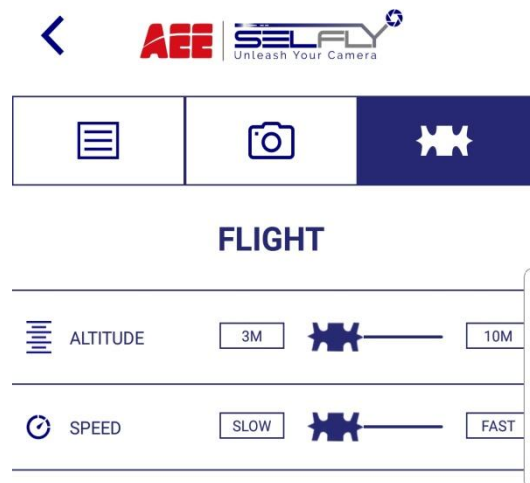
SETTINGS(設定)

- Settings(設定)メニューでは、Camera settings(カメラ設定)および Flight settings(フライト設定)が選択できます。

Camera settings(カメラ設定)- カメラのシャッター遅延秒数が設定できます

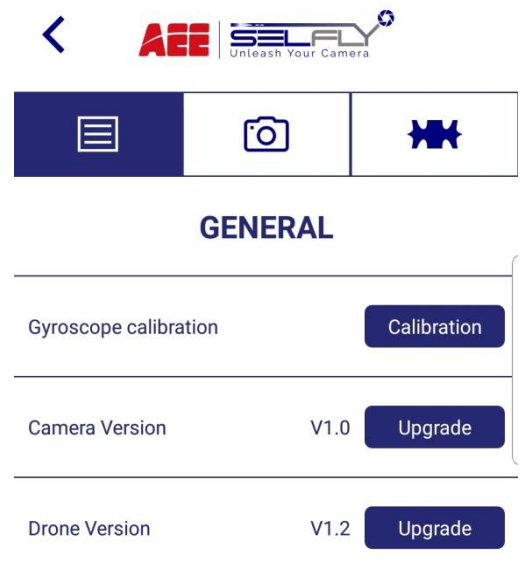


Flight Settings(フライト設定)- 最大高度 (ALTITUDE)と速度(SPEED)が設定できます



Calibration(調整)- クラッシュやドローンの操縦が安定しない場合には、センサーの調整をおすすめします。

SELFLYを平らな場所に置き、'Calibration'を押してください。数秒でプロセスは完了します。



GALLERY

GALLERY(ギャラリー)

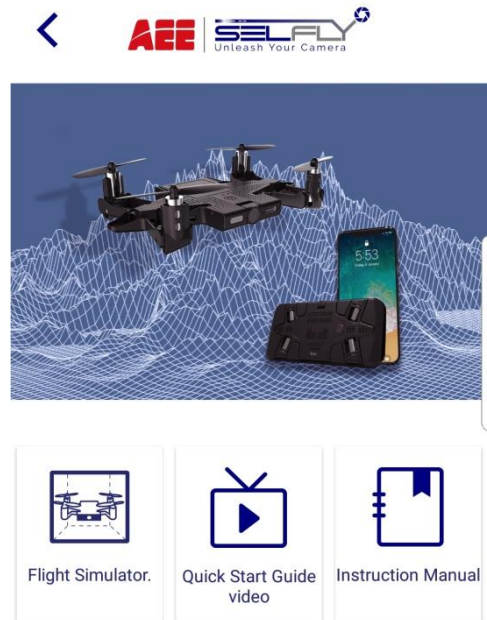
全ての画像と動画は' GALLERY' に保存されます。本メニューから選択、編集、画像や動画のアップロード等の SNS 機能への遷移が可能です。



LEARN SELFLY

LEARN SELFLY(SELFLY を学ぶ)

ここでは'Quick Start Guide Video(クイックスタートガイド)', 'Instruction Manual'(全インストラクションマニュアル), 'Flight Simulator(フライトシミュレーター)'を確認いただけます。アプリの'LEARN SELFLY'メニューで、クイックチュートリアルを確認いただき、シミュレーターで飛行前にシミュレーションをしてください。



Flight(フライト)

フライトスクリーンアイコン



1. ホーム画面に戻る
2. Wi-Fi 信号レベル
3. バッテリーレベル
4. Joystick(ジョイスティックコントロールモード)
5. Fly-Pod(フライポッドコントロールモード)
6. Fly by Picture(フライバイピクチャモード)
7. ギャラリー
8. Fixed Heading Mode (固定方位モード)
9. 顔認証/フォロー
10. 設定
11. 垂直速度
12. 高度
13. 離陸/着陸ボタン

概要：

- 初めて SELFLY をご利用になられる場合には、様々な操作モードでの独自の操作やシステムに慣れるために、広く明るい室内での操作を強くお勧めします。機能を熟知するにつれて、パフォーマンスの向上や高レベルの操作へと挑戦いただけます。
- 飛行を開始するには、Wi-Fi の設定後に 'Take-off(離陸)' ボタンを押してください。SELFLY は離陸し、約 1.5 メートルの高さでホバリングを開始します。SELFLY はセルフイーカメラであるため、通常の飛行ポジションはユーザーの顔に向き合う高さに設定されています。この高さでの左右方向調整は一般的なドローンと相違ありません。

'Fixed heading mode(固定方位モード)'は操縦者の視点による操作をするか、ドローンの視点から操作をするかを選択できます。(ドローンが操縦者の視点を向いていない場合には、方向が逆になります。)左にスティックを押した時に、ドローンが操縦者の視点を向いている場合は、ドローンは操縦者から見て左側に回転します。操縦者の視点を向いていない場合は、ドローンは操縦者から見て右側に回転します。'Fixed heading mode(固定方位モード)'では、ドローンは操縦者の方向を向いていない状態でもスティックの方向に回転します。

このモードにより視点の混乱を解決します。このモードはシンプルです；たった一つの条件は離陸前にドローンの前にいることです。自撮り用途としてとても便利な機能です。

レギュラーモードでは、カメラが操縦者の方向を向いている場合には、操縦者から見た進行方向はドローンの進行方向と同一になります。

- 安全のため、パッケージに付属されているプロペラガードを接続してください。2種類のプロペラガード(AおよびB)があります。同じ文字が記載されているプロペラにご利用ください。
- SELFLYは平らな位置から離陸させてください。

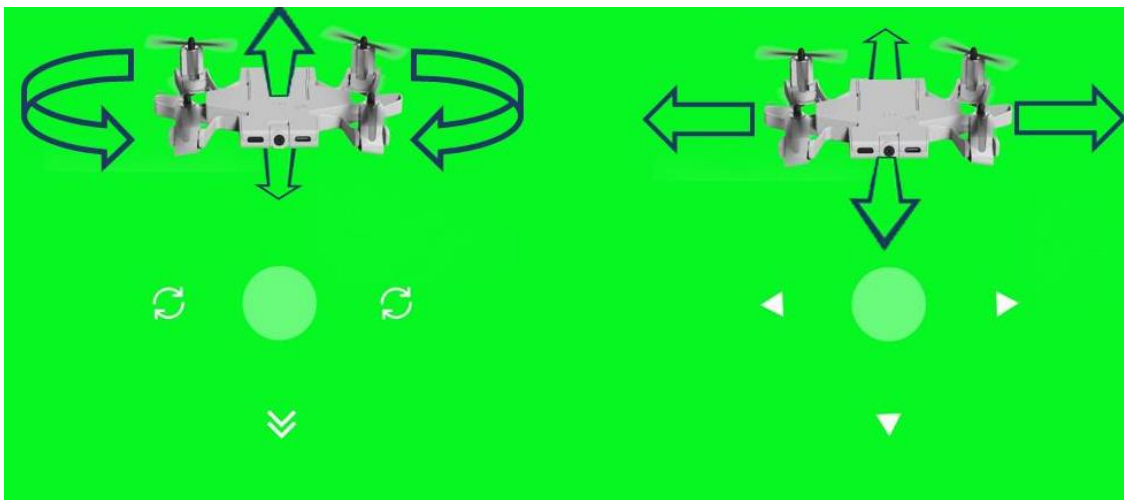
Flight Control Modes(フライトコントロールモード):

SELFLYはオプティカルフローカメラや超音波距離センサー等の自律ホバリングセンサーを搭載しています。これは操縦する環境によって精度が左右されます。それぞれのセンサーには制限があります。自律ホバリングセンサーとして最もふさわしい環境は、十分に明るく広々としたエリアです。オプティカルフローシステムには、位置をロックするための形状又はパターンが必要になります。単色で光沢のあるフロアは、ロックオンが困難です。いずれの場合においても、少なくとも1つの飛行制御モードを習得する必要があります。ドローンに慣れていない場合は、実際の飛行の前にSELFLYシミュレーターを使用して練習を積んでください。

SELFLYは小型で軽量なプラットフォームです。軽量なドローンは空気や風による抵抗を受けやすい傾向にあります。風の強い外でのSELFLYの使用はお控えください。

- (平らな位置に置かれたことが確認できた後) 'Take off (離陸)' ボタンを押すときは、いかなる飛行モードであっても SELFLY は自動で離陸し約 1.5 メートルの高さでホバリングを開始します。スロットルを押す必要はありません。
- 操縦をマスターすることがパイロットの成功の鍵です。SELFLY は 3 つのパイロットモードを備えています; 私たちは最も基本である 'Fly by Joystick' モードを使用されることをお勧めします。- 当モードは左スティックがスロットル(アップ/ダウン)および進路(左/右)操作用です。右スティックはピッチ(アップ/ダウン)および回転(左/右)用です。

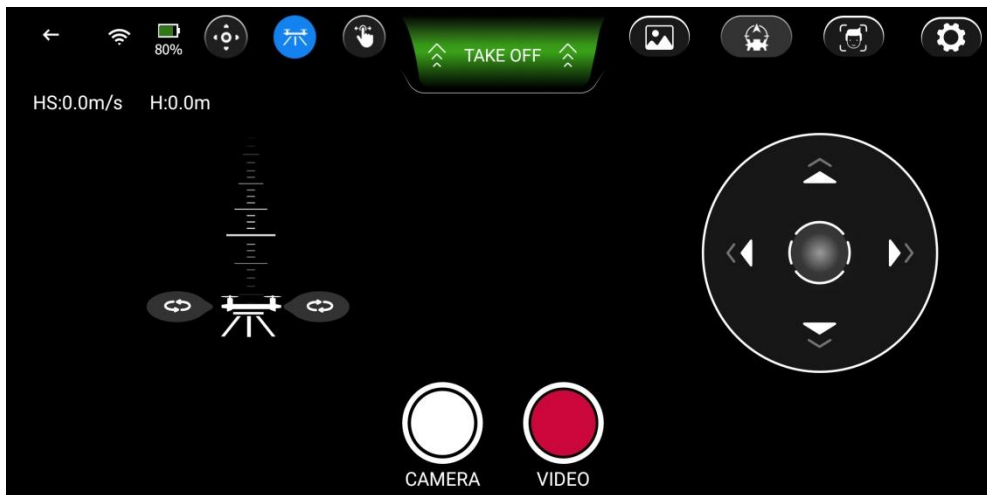
'Fly by Joystick(フライバイジョイスティック)'



- 右スティックを前方に押すと SELFLY は前進します(ピッチ)
- 右スティックを後方に押すと SELFLY は後進します(ピッチ)

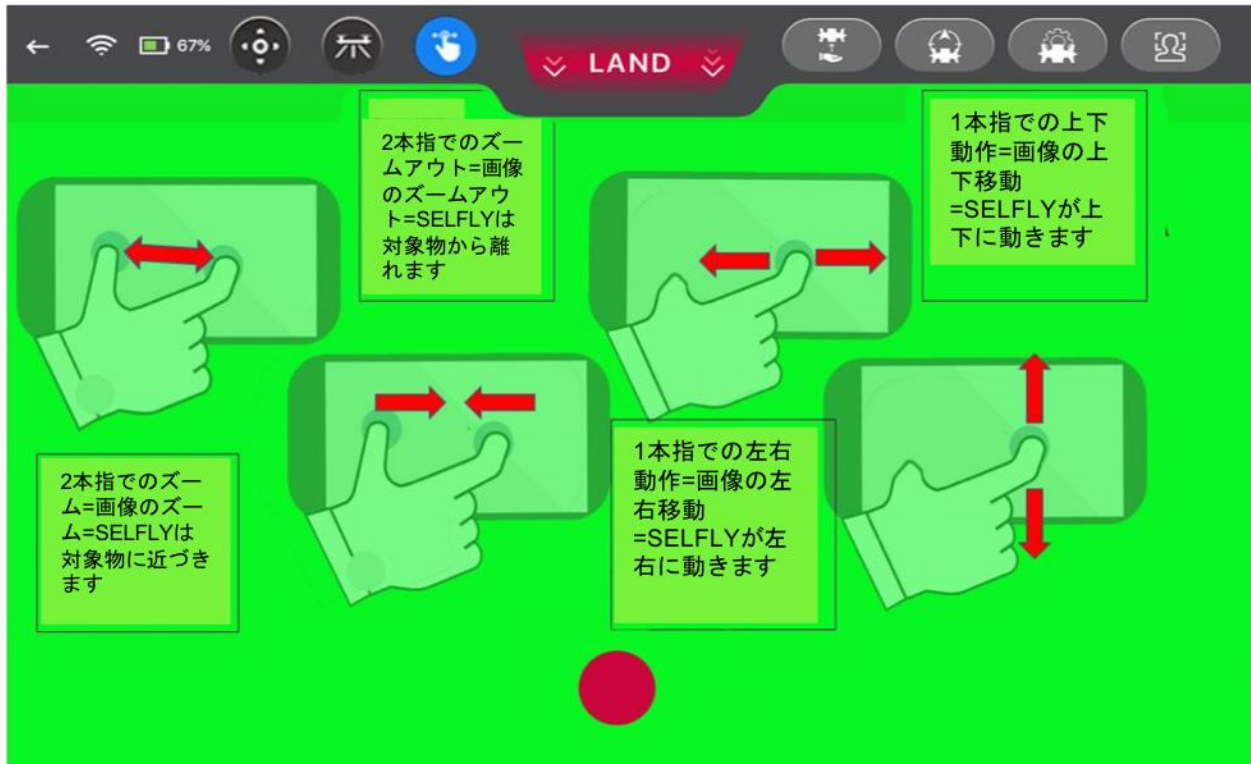
ドローンの前後位置を認識してください。離陸前に操縦者はドローンのカメラが操縦者を向くように位置してください。

'Fly Pod(フライポッド)'



SELFLY が三脚に取り付けられたカメラであるかのような操作が可能です。左のアイコンは SELFLY の三脚です。SELFLY アイコンを上下に動かすことで高度を設定できます。左右に回転させるには、両側にある二つの回転アイコンを押します。一度回転アイコンを押す度に、20度～30度 SELFLY は回転します。右スティックはピッチ(アップ/ダウン)および回転(左/右)です。

'Fly by Picture(フライバイピクチャ)'



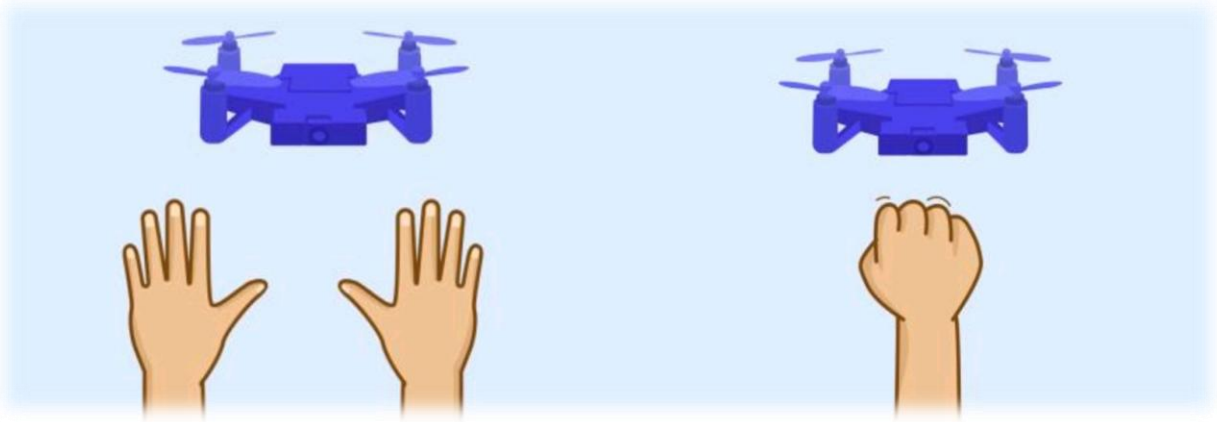
SELFLY を表示されている画像をコントロールするかのよう操作できます。指で画像(パイロット視点)を操作して目的地へ移動しましょう。画面上の操縦がドローンへ送信され、操縦に従ってドローンが動きます。

画像のズームイン操作で SELFLY は操縦者に近づき、画像は更に拡大します。

画像のズームアウト操作で SELFLY は操縦者から離れ、画像はズームアウトします。

顔認証 / フォローミー

本モードを有効化するには 9 番のボタンを押してください。緑色の四角で SELFLY が顔を検知したことが表示され、ロックオンしたことを示します。SELFLY は検知した顔の動きをフォローします。バックライトが存在する場合(顔の背部からカメラに向いた光)は検知機能が落ちることになります。



Gesture control

ジェスチャーコントロール

SEFLYはジェスチャーコントロール機能を備えています。操縦者の顔の横にある拳を認識すると、顔周辺の緑色の四角の枠に隣接する拳の周辺に赤い四角の枠が表示され、写真撮影が実行されます。

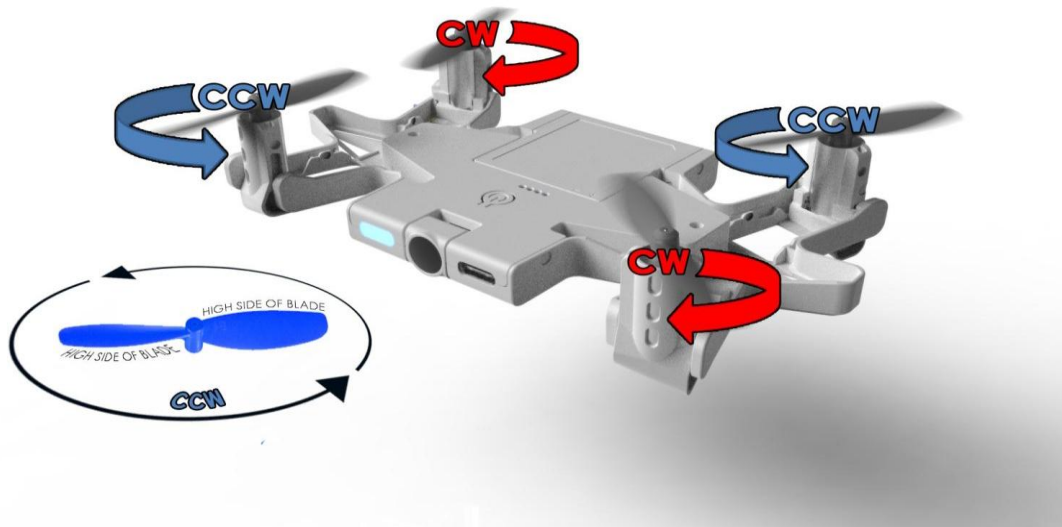
顔に隣接する2つの開いた状態の手を認識すると、SEFLYは操縦者の前に戻って着陸します。

プロペラ

プロペラにダメージがなく、曲がりがないことを確認してください。SEFLYはプロペラが無傷で曲がりがない場合のみ自律ホバリングが可能になります。

プロペラが損傷した際、場合によっては交換が必要になります。

プロペラはモーターのシャフトとの摩擦によって所定位置に設置されています。取り外



しは、プロペラとモーターの間にマイナスドライバー又は先が平らな器具を挟み、回転させることによってプロペラがモーターシャフトから押し出されます。モーターにプロペラを取り付ける場合には、手で取り付けることが可能です。プロペラは2種類があり、配置場所は変更できません。各々のプロペラが正しい位置に取り付けられることを確認してください。対となって構成されるプロペラには、**A**と**B**のマークが記載されています。通常の**55mm/1mm**のプロペラを使用する場合には、モーターを適切に折り畳めない場合があります。

Flight tips (フライトについて役立つ情報) :

- 飛行を始める前に、チェック項目を確認しておきましょう。'フライト事前チェックリスト'のようなリストを持つことが大切です。バッテリーは必ず充電して適切に装着しましょう。モーターは正常方向に展開してロックしましょう。プロペラは良い状態で適切に設置しましょう。スマートフォンのバッテリーは切れないようにしておきましょう。**Wi-Fi**はアプリに接続して、飛行エリアを明確にしましょう。これらのような事前チェックを行い、飛行中に大きなトラブルを避けましょう。
 - 最初のフライトでシステムを学び、慣れましょう。広い室内で、明るい照明でゆっくりと他の環境にも慣れていくことが大切です。
 - 正確な調整のために、平らな面からの離陸を心がけましょう。
 - クラッシュした後は、全てのプロペラに損傷がなく、硬く装着されていることを確かめてください。正確な調整をしてドローンをリスタートするために、平らな面から離陸をしてください。
-
- バッテリーを充電しましょう- 離陸前には、**必ずバッテリーを充電**してください。バッテリーはパッケージ付属の **USB-C** ケーブルに接続した際に充電できます。**USB-C** ポートは、ドローンのフロントカメラレンズの側面に位置しています。バッテリーは専用のパワーバンクや外部の充電器を使用しても充電が可能です。(基本パッケージに含まれていません)
 - **SEFLY** は小型で軽量のプラットフォームです。軽量のドローンは**空気や風**による抵抗を受けやすい傾向にあります。風の強い外での **SEFLY** の使用はお控えください。

- **SEFLY**は**防水機能を備えていません** – 湿度の高い環境や雨の中での使用はお控えください。
- 人や車の混雑した場所での **SEFLY** の飛行はお控えください。
- **SEFLY** は独自のモーター保持メカニズムにより動作します。離陸前には、モーターが完全に垂直でヒンジが完全に開いていることを確認してください。
- 飛行中は直視線を保ちましょう。ドローンを見逃さなくなります。
- **Wi-Fi** レンジを気に留め、**SEFLY** を範囲内で操縦しましょう。**SEFLY** は透明な三脚用途です。長距離飛行型のドローンではないことを覚えておきましょう。
- クラッシュしそうな場合には、着陸ボタンを押し、緊急ボタンを押してください(同様のボタンを2回押します)
- 人や動物から十分な距離をとってください。どんなクラッシュでも怪我に繋がります。
- プロペラが回っているときは危険ですので指から距離をおいてください。
- パニックモード – **Wi-Fi** 信号が途絶えた場合、またはバッテリーが **10%**を切った場合には、**SEFLY** は'panic mode(パニックモード)'に入り、自動的に着陸します。
- **SEFLY** を使用しない場合にはそのまま放置しないでください。バッテリーの消耗に繋がります。

Power Bank (パワーバンク)

500mAh の専用パワーバンクは、充電用のドックステーションです。SELFLY カメラが接続された場合に、自動的にチャージされます。チャージ中は、キャパシティ LED インジケータは消灯しています。矢印で記載されている方向で接続した場合のみ充電が有効になりますのでお気をつけください。

パワーバンクは前方にある USB ポートより充電してください。

このバッテリーには一つのバッテリーに対して独自のドッキングポイントがあります。よって一つのバッテリーを SELFLY カメラがパワーバンクにない状態でも充電が可能です。バッテリーを充電スロットに入れ、電源ボタンを 3 秒間押して充電を開始します。

